

東濃地科学センターの状況

超深地層研究所計画

〔瑞浪超深地層研究所〕

- ・研究坑道掘削工事関係
 - 主立坑の掘削作業 (12/5 8:00 現在 300.2m)
 - 換気立坑の掘削作業 (12/5 8:00 現在 300.2m)
 - 深度 300m の水平坑道 (予備ステージ) の掘削作業 8/20 ~
(12/5 8:00 現在 主立坑側から 26.4m)
 - 深度 300m の水平坑道 (調査研究用の水平坑道) の掘削作業 9/3 ~
(12/5 8:00 現在 主立坑側から 43.6m)
 - 深度 300m の水平坑道 (ボーリング横坑) の掘削作業 12/3 ~
(12/5 8:00 現在 換気立坑側から 3.2m)
- ・深度 100m 及び 200m の水平坑道 (予備ステージ) における水平ボーリング孔を用いた地下水観測を実施中
- ・深度 200m のボーリング横坑及び立坑からのボーリング孔に設置した水圧観測装置, 先行変位計及び歪計を用いた長期観測を実施中
- ・深度 200m の換気立坑側ボーリング横坑における岩盤力学ボーリング調査を実施中 (10/20 ~)
- ・傾斜計による岩盤変位計測を継続
- ・表層水理定数観測を継続
- ・長期流量観測を継続 (狭間川 3 地点)
- ・長期水位観測を継続 (研究所周辺井戸 10 地点)
- ・研究坑道掘削土に関する環境管理測定を継続
- ・既存ボーリング孔における長期地下水観測を継続 (MIZ-1・MSB-1~4・05ME06 号孔)
- ・アクロス技術の工学技術への応用として, 弾性波/電磁波送信及び観測を実施中

〔正馬様用地〕

- ・既存ボーリング孔における長期地下水観測を継続 (AN-1,3・MIU-1~4 号孔)
- ・表層水理定数観測を継続 (正馬様用地内 3 地点及び 97MS-01~03・98MS-04・99MS-05・AI-7,10 号孔)

広域地下水流動研究

- ・既存ボーリング孔における長期地下水観測を継続 (DH-2,5,8,10~13,15 号孔)
- ・河川流量観測を継続 (日吉川下流域、柄石川流域)

瑞浪超深地層研究所からの排水

- ・排水処理設備：放流を実施中
- ・先月 (H20/11) の日平均排水量：652 m³/日

瑞浪超深地層研究所における施設供用

- ・東濃地震科学研究所による研究坑道内における傾斜計を用いた岩盤変位計測等を継続

その他

- ・電力中央研究所との共同研究 (地下水年代測定) (10/20 ~)

訂正：7月4日付けの東濃地科学センター週報において、6月の日平均排水量を 624 m³/日とお知らせいたしましたが、正しくは 626 m³/日でした。

瑞浪超深地層研究所研究坑道掘削工事の状況
(平成 20 年 12 月 5 日現在)

立坑掘削深度	主立坑	換気立坑
	300.2m	300.2m
12月12日までの予定	300.2m	300.2m

深度 300m 予備ステージ 掘削進捗	主立坑側から	換気立坑側から
	26.4m 避難所 6.0m	-
12月12日までの予定	26.4m 避難所 6.0m	-

深度 300m 調査研究用の 水平坑道掘削進捗	主立坑側から	換気立坑側から (ボーリング横坑)
	43.6m 計測横坑 10.0m	3.2m
12月12日までの予定	44.4m 計測横坑 10.0m	8.2m

その他の作業	主立坑	換気立坑
	-	深度 200m ボーリング横坑における岩盤力学調査
12月12日までの予定	-	ボアホールテレビ計測

